学力向上のための重点プラン【小学校】　　　　　新宿区立戸山小学校

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **授業作り** | 重 点 | 校内研究の国語科を中心に、思考力・判断力・表現力を養い、全児童が確かな学力を身に付けられる授業をつくる。 |
| **環境作り** | まなびの拠点校としての利点を生かし、特別支援教育の理解と専門性の向上に努め、各学級におけるインクルーシブ教育を進める。 |

■　学校の共通目標　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**【ＨＰ公開用・様式１】**

■　学年の取組について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学**  **年** | **学習状況の分析**  **（各種調査から）** | **学校が取り組む目標**  **（日常の授業の様子から）** | **目標達成のための取組** |
| **１**  **学**  **年** |  | **・ひらがなの書き順を意識しながら書いたり、字形を整えたりするなど、字を読みやすく書く意識をもたせる必要がある。**  **・すべての児童が、数の大小の関係性を理解し、計算問題での物の多い少ないを理解できるようにする。** | **①空書きを繰り返し行う。**  **②音読を繰り返し行う。**  **③ブロックなどの有形物の活用**  **④ICT機器の活用（視覚的理解）**  **⑤デジタルドリルの活用** |
| **２**  **学**  **年** |  | **・気持ちや様子を表す言葉など、様々な言葉の表現を知り、使えるようにする。**  **・漢字の筆順や使い方を身に付ける。**  **・数の位やまとまりを意識して問題に取り組めるようにする。** | **①分からない言葉は全体で調べて確認したり、複数の表現を確認してから作文を書く活動に入ったりするなど、言葉に触れる機会を意図的に取り入れる。**  **②デジタルドリルやドリルを活用した反復学習の充実。**  **③具体物や図を活用して視覚的にとらえたり、考えを表したりできるようにする。** |
| **３**  **学**  **年** | **・国語「書くこと」の領域において、語彙を増やしたり、自分の表現したいことを適切に表現したりする力を付ける必要がある。**  **・国語、算数ともに文章の内容について正しく読み取る力を身に付ける必要がある。​** | **・毎週の課題である日記や作文に書き慣れさせ、語彙や表現方法を増やしていく。**  **・文章の構成を理解し、それに合わせて自分の意見や考えを表現する力を伸ばしていく。**  **・日々の反復学習により、漢字の定着を図っていく。**  **・個に応じて、既習事項も含めながらそれぞれの苦手分野を把握し、個別に課題設定を行って学習に取り組めるようにする。** | **①自分の考えや意見を文章化する機会を増やす。**  **②週末の日記の課題や各教科の振り返りなど「書く」活動の充実**  **③漢字の視写や小テストの時間の確保**  **④教科書や問題文の音読活動の充実**  **⑤デジタルドリルを活用した自分の不得意分野の反復学習**  **⑥具体物、タブレット端末を用いた学習の充実** |
| **４**  **学**  **年** | **・「話すこと・聞くこと」、「言葉・情報・言語文化」の２領域について力を伸ばす必要がある。**  **・漢字の読み書きについて力を伸ばす必要がある。**  **・算数では、四則演算の定着が必要である。** | **・日々の授業の中で、主体的・対話的な学びを通して「話すこと・聞くこと」の力を養う。**  **・分からない言葉の意味調べを通して、言語感覚を養う。**  **・朝学習の時間を活用し、漢字、四則演算等の基礎学力~~問題~~の定着を図る。** | **①授業や学級会において、グループや学級など、場面に応じて形態を工夫し、話し合う機会を多く設置する。話型を提示し、どの児童も話し合いに参加できるようにする。**  **②国語辞典やタブレット端末を活用し、積極的に言葉を調べる機会をつくる。個人で調べるだけでなく、学級全体で言葉の意味を確認する時間を設ける。**  **③デジタルドリルを活用した（漢字・計算）の反復練習** |
| **５**  **学**  **年** | **・「話すこと・聞くこと」「読むこと」の２領域について力を伸ばす必要がある。**  **・漢字の読み書きについて力を伸ばす必要がある。**  **・算数では、特に数と平面図形の単元での力を伸ばす必要がある。** | **・様々な言語に触れる活動を日常の中に多く設定し、言語感覚を養う。**  **・様々な教科で自分の考えや思いを書けるようにする。**  **・定期的に図書の時間を設け、読書に親しみ、知識や感性の育成を図る。**  **・漢字学習を日常的に継続して行い、既習漢字について定着できるようにする。**  **・算数では、授業の中で、関連のある既習事項に触れる機会をもつことで、学習内容の定着を図るようにする。** | **①既習内容（漢字・計算）の反復練習**  **②図書館スタッフと協力して様々な種類の本に触れる機会を増やす**  **③デジタルドリルを中心とした様々な学習ツールの活用**  **④個に合った学習環境の整備**  **⑤自分の考えや意見を文章化する機会を増やす、スピーチの活用**  **⑥算数では、授業の際に具体物を活用して空間的なイメージをもてるようにしたり、数の概念について繰り返し振り返ったりする** |
| **６**  **学**  **年** | **・国語「言葉・情報・言語文化」と「読むこと」の２領域について力を伸ばす必要がある。**  **・漢字の読み書き、言葉の使い方について力を伸ばす必要がある。**  **・算数では、特に数量と図形の単元で力を伸ばす必要がある。** | **・朝学習の時間を活用し、短文作りや言葉遊びの活動を通して、言語感覚を養う。**  **・物語文、説明文の読解で、大切な言葉や文を理解できるようにする。**  **・漢字学習を日常的に繰り返し行うことで、既習漢字が定着できるようにする。**  **・算数では、数の概念や図形の領域において、基本的な内容の定着を図るようにする。** | **①教材文をもとに言語に着目した活動を行うなど、意味や活用を知ることで、様々な言語に触れ、語彙を増やす。**  **②主述の関係を整理したり場面を確認したりすることで、情景や要点を視覚的に把握できるようにする。**  **③デジタルドリルを中心とした学習ツールの活用**  **④算数では、授業の際に具体物を活用して空間的なイメージをもてるようにしたり、数の概念について繰り返し振り返ったりする。** |
| **特**  **別**  **支**  **援** |  |  |  |